

立憲えびな

海老名市議会議員

たち登志子

えびなとわたしとときときたゆき

2020年
(令和2年)
春



市政レポート

令和2年第1回定例会、第2回臨時会号



討議資料

教えてください、お聞かせください

「こんなことに困っている」
「子育てについて、女性の働き方について話したい」
「自分の住む地域の良さを知ってほしい」など

みなさまの声を聞かせてください。

新型コロナウイルスが猛威をふるっており、感染拡大が懸念されております。不要不急の外出の自粛、「3つの密」を避けること、マスクの着用、石けんによる手洗いや消毒などをお願いいたします。また今後は関連した詐欺の手口も広がるかと懸念されます。不審な電話や訪問がありましたら、消費者センターへご相談ください。

裏面には相談窓口などについてお知らせしております。

市議会令和2年第1回定例会および第2回臨時会における質疑を抜粋し、ご報告いたします

第1回定例会 立憲えびな代表質疑

子育て支援について

子育て支援センターは現在北部や南部などの地域版子育て支援センターと合わせて4つのセンターがございますが、アクセスのよい駅周辺にもあればさらに利用しやすく、子育て世代の利便性につながるのではという声もあがっております。そこで、今後の子育て支援センターのあり方を含め、より子育てのしやすい街づくりをどのように展開されていくのか見解を伺います

回答(市長)

子育ての相談、保育所情報を提供しながら、支援センターにいれば情報共有できるシステムを考えていきたい。例えばiPadやPCで情報が閲覧できる、そういった形で情報提供をすすめていきたい。
駅周辺の補完としては、マルイファミリー海老名、上郷自治会館での移動サロンを実施しており、令和2年度からはえびなの風保育園でも移動サロンの開催を予定している。保育園も子育て支援の場として活用することが必要でないかと考えている。



図書館と教育分野について

有馬図書館の大規模改修には多くの市民の期待が寄せられていると思います。幼少期に本にたくさん触れ合うことは学習面だけではなく、情緒をはぐくむことに多に役立つことと考えます。今まで以上に使いやすい図書館になること、本に触れる機会が増えること、学習の場所が用意されることはこれから未来を担う子供たちにとっても大きな財産になるかと思えます。そこで、有馬図書館の改修によってどのような教育支援につながるのか、構想案をお伺いいたします

回答(教育長)

有馬図書館をリニューアルしコミセンと一体化する。子ども達にかかわる部分としては、読み聞かせや親子で過ごせるスペースを設置する。図書館から学習室に直接行ける階段の設置や、書架を低くするなど、こどもと図書の間を深くできる環境を整えていく。
有馬図書館は学校の学習支援のキーステーションなので、学習支援の本の充実や児童書の充実を重点的に行うべきだと考えている。
結果として子どもたちが学習や本が好きになるような政策につなげていきたいと考えている。



GIGAスクール構想について

いまや教育現場でICT環境を整えることは時代の流れからも自然な流れであると考えます。プログラミング教育の推進も進んでいるとのことで時代にあった教育の実現を大いに期待しております。一方で、現場の教職員のICT教育やプログラミング指導スキルの格差などにより教職員の負担増につながるのではないかと懸念もござります。そこで、各小中学校でのICTを利用した学習において、どのような体制を考えられているのかをお伺いいたします

回答(教育長)

令和5年度までにひとり一台のパソコン、タブレットを整備する予定である。いま小学校ではタブレットで学習をすすめている光景が普通になってきた。中学校でも活用できるように配布を進めたいと考えている。
以前パソコン教室を導入したが活用しきれなかった反省を活かし、全部の学校で研修会を開いた。これからも企業や大学と連携しながらプログラミング分野での研修をうけながら教職員の負担が少なくなるように進めていきたい。未来型の学習を展開していきたい。



市民活動の推進について

現在、市民活動推進補助金制度によってボランティア団体など多くの団体が活動しやすい制度がございますが、えびな未来創造プラン2020の中にも「市民が自らつくり運営する活動の必要性もたかまわってきています」との一文があります。行政分野の枠を超えて一丸となり市民の自主的な活動をサポートすることが理想であり、市民活動推進補助金制度を活用とする団体の多様性が求められると考えます。そこで、公益性のある市民活動という位置づけについてどのような基準であるのか、市民活動についてのお考えを伺わせていただきます

回答(市長)

市民活動推進補助金は市民の自主的で公益的な市民活動に対して財政的に支援している。平成22年度から開始し令和元年度までに34団体64事業に補助金を交付しており、審査は市民活動推進委員会により行っている。公益性とは多くの市民が事業の効果を受けることができることがひとつの基準となっている。地域課題の解決に重要な役割を果たしている。
しかし制度創設から10年以上経過しており、今後この活動の問題について進化を考える形で、委員会でも活発な議論がされるだろうと思っている。行政と市民活動団体が連携をはかりながら運営されることが必要だと思っている。



(抜粋) オンライン授業について

新型コロナウイルス関連による休校措置の状況下でのオンライン授業について、教員の業務内容についてお伺いさせていただきます



回答(教育支援課)

中学校で既に導入しているeライブラリ、これから導入しようとしている小学校のeライブラリはこれまで学習したことの反復学習(復習)が主である。小学校1年生から中学校3年生までの問題が57,000収納されていて上の学年を学びたい児童生徒にとってはそれを解くことも可能。
オンライン教材ということで学校の教員が画面に登場して児童生徒に授業するというものではないので、その点においては教員の負担は大きくは無いと考えている。ただ児童・生徒が学習した履歴を教員は把握できるので、児童の学習状況の把握、学びの確認と言う点では効果があると考えている。

情報

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法にご注意ください

「マスクを無料で送ります」など関心を引くメールを送りメッセージ内のURLをクリックさせる手口や、「金の相場は必ず上がります」などの悪質な勧誘などがあるようです。新型コロナウイルスを口実にした悪質商法の被害にあわないために、心当たりのないメッセージには反応しない、不審に思ったら消費生活センターへ相談する、など予防に努めてください

海老名市消費生活センター

046-292-1000 9:30~16:00(平日)

消費生活センター窓口で相談できるのは在住の方が原則です

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口

【海老名市】

新型コロナウイルス感染症コールセンター

046-235-5234

9:00~21:00(平日) 9:00~12:00(土曜)

【神奈川県】

帰国者・接触者相談窓口感染症専用ダイヤル

045-285-1015 (24時間)

次のいずれかの症状がある方

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている(解熱剤を飲み続けなければいけない時を含む)
強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

【神奈川県】

新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

045-285-0536

050-1744-5875

① 9:00~21:00(平日、休日)

④ 9:00~21:00(平日)

②③④ 9:00~17:00(平日)

045-285-0637

② 17:00~21:00(平日)

9:00~21:00(休日)

音声案内がながれます

- ① 微熱や軽い咳などの症状のある方や感染の不安のある方、健康・医療に関すること
- ④ 協力金に関すること
- ② 緊急事態宣言や特別措置法に関すること
(休業と外出自粛の要請に関すること)
- ③ 経営相談に関すること
- ④ その他

～プロフィール～

1973年1月17日生まれ。滋賀県に生まれ大阪府で育つ。高校生の時に南米チリに留学。大学進学を機に神奈川県で生活を始める。海老名に移り住み20年。

一男一女の母。

東海大学大学院工学研究科航空宇宙工学修了

趣味：フィギュアスケート・鉄道・神社仏閣めぐり

特技：スペイン語

座右の銘：不惜身命



たち登志子